

従業員向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		法令を遵守したスペースを確保しております。支援内容・利用人数によって教室を使い分けをしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	配置数が適切になるよう、勤務状況に応じて配置をしている。状況に応じて1対1での対応が必要となることもあるため、随時求人募集を行う。より良い支援を行うために、職員育成に努める。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、配慮が適切になされているか。	6	1	建物の構造上、玄関のスロープ敷設工事はできないため、滑りにくい素材で階段を増設し段差を低くしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		日々教室内、玩具の消毒など、衛生面を十分注意し、清潔な教室を維持している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		子どもたちの気持ちや体調に応じて、クールダウンできるよう個別の部屋で過ごせるようにしている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者の評価を把握し、職員で共有して今後の業務に繋げている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日々、職員同士で情報共有を行い、次回の支援改善に繋げている。定期的に職員会議を行い支援改善に努めている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	外部評価は実施できていないため、今後検討が必要。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		本部主催の研修に参加をして資質向上に努めている。積極的に行政が行っている研修などの参加も検討する。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		本部のHPIにて公表している。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		個々の課題を話し合い、面談の中で出た予後者の意向も踏まえながら支援計画を立てている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援に関わる職員が、集団療育・個別療育などの様子を共有して検討している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画の内容を職員間で共有し、共通理解を図った上で、計画に沿った支援を実施している。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	それぞれ具体的に設定はしているが、移行支援の視点が不足している為、今後は就学や進学を見据えた目標、関係機関との連携内容を明確にしていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		日々のリーダーが中心となり、子どもたちの興味・関心や発達段階に応じた活動プログラムを立案している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		発達段階や課題に応じて、集団療育・個別療育のバランスを考え計画書を作成している。計画に沿って支援を行い、子どもたちの希望する活動も尊重しながら行っている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援前には必ずミーティングを行い、支援内容・職員の配置、役割分担について確認を徹底している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	勤務時間の関係で当日の振り返りが難しい場合がある為、業務日報や日々の支援内容などは細かく記録し、いつでも振り返りをして共有できるようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		ケア記録も活用して職員間で共有をし、次回の支援に繋げるように努める。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングを行い、常に見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		協力医療機関との連携をして、体制を整えている。定期的に地域の情報などの共有もしていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		関係機関と情報共有をし、共通した支援内容の理解を図っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		今まで該当する事例がない為、連携はなし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		市の児童発達支援センターと連携をして、情報共有を図っている。定期的に、本部のSVより助言や指導を受ける機会を設けている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		地域の子どもセンターなどを利用して、地域の子どもたちと交流する機会を設けている。教室主催のイベントに、地域の方が参加できる機会を増やしていけるように努める。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		市の協議会(連絡会)への参加をしている。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時、記録したこと、その他子どもの状況など共有している。仕事などの関係で普段お会いできない保護者にもしっかり情報共有できる方法を再検討していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7	現在、ペアトレ等の家族型研修の実施はない為、今後検討する。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に詳しい説明をするよう努めている。支援プログラムは本部のHPで公表している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		定期的に面談は行っているが、その他必要があれば子育ての悩み、相談に応じている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	7		定期的に保護者会を開催していく。きょうだい同士で交流する機会や保護者同士の意見交換の機会を増やしていけるよう検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情については、職員で共有をし速やかに対応するように努めている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		SNSや教室通信を毎月発行して、活動概要などのお知らせをしている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報に記載された書類については、鍵付きキャビネットで保管を徹底している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		意思の疎通や情報伝達のため、複数の方法で丁寧な説明を心掛けている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		教室主催のイベントにて一般開放をして交流を図っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		定期的に訓練を実施しているが、周知が足りない為今後徹底していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		事前に、子どもの状況を確認している。面談時も改めて確認するようにしている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		アレルギー表を作成し、二重確認をするなど確認を徹底している。保護者には定期的にアレルギー表の記載をお願いし、更新をする必要あり。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		口頭での共有になってしまうことがある為、報告書記載を徹底する。会議にて取り上げ再発防止に繋げる。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		やむを得ず身体拘束を行う場合には、計画書に記載すると共に保護者にはご説明をしている。	